

令和6年度「地域学校協働本部事業」 放課後子ども教室の取組事例

「地域の子どもは地域で育てる」(福島県相馬市)

取組の概要や経緯

小学校の空き教室や体育館などを利用して、放課後の子どもたちの居場所をつくっている。地域のボランティアスタッフの協力を得ながら、大人と子どもが共に様々な体験活動を行うことで、豊かな心を育む。



内容

- 市内9小学校全校で実施。各教室で地域の実態に合った内容を展開している。
- 子どもたちの自主性を尊重し、自由にのびのび遊ばせることを中心に活動している。
(宿題をしてから遊ぶというように、スケジュールを決めている教室もある)
- 季節の行事、夏休み教室、親子参加行事、お楽しみ会など楽しいイベントを企画し、各教室が特色ある活動を行っている。
- 東日本大震災の教訓を活かし、子どもたちの災害時の安全を確保するために、全ての教室で地震などを想定した避難訓練を実施している。

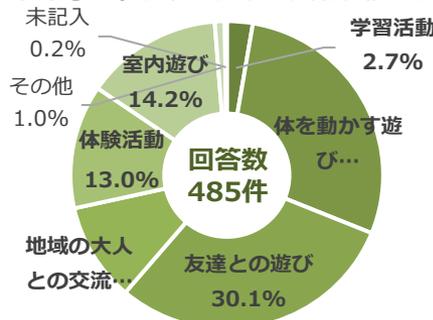
ポイント

- 各教室ごとに、地域の実情にあわせた形で実施している。
- 各教室代表者による会議を学期ごとに開催し、情報共有や課題解決に努めている。
- 各教室でおこなったイベントなどを、広報紙や市HPに掲載して活動をPRしている。

成果

- アンケートを登録児童の保護者に実施。
- 登録児童272人中199人が回答(回収率約73%)
- 子どもたちが放課後子ども教室のどのような活動を楽しみにしているか調査したところ、「友達との遊び」が最も多かった。保護者が活動に対し期待することは、「友達との交流」、「体力向上」、「地域の大人との触れ合い」となっており、97%の保護者が期待どおりの活動ができていると思うと回答があった。これらのことから、本事業は子どもの豊かな心の育成へ貢献できていると考える。

子どもが楽しみにしている活動(複数回答)



今後の方向性

- 保護者への声かけや地域住民へのチラシ配布等により、幅広い年代のスタッフを確保するとともに事業の発展に努める。
- 各教室ごとの課題を解決できるよう、定期的な会議の開催や情報共有の機会を設け、市内全小学校での活動を継続していく。
- 放課後子ども教室の活動内容について、チラシを作成したり学校のPTA総会等で説明したりすることで登録児童数の確保を目指す。